

演奏予定曲目

第1部

- スタイナー (川上肇編曲)：風と共に去りぬ
- マンシーニ：映画「ティファニーで朝食を」より“ムーン・リバー”
- 久石譲 (大森愛弓編曲)：「天空の城ラピュタ」より“ハトと少年”“君をのせて”
- 久石譲 (川上肇編曲)：「もののけ姫」より“もののけ姫”“アシタカせっ記”
- J.ウィリアムズ：映画「E.T.」より“地上の冒険”

第2部

- J.シュトラウスⅡ：ワルツ「春の声」
- アンダーソン：春が来た
- マーラー：交響曲第5番 第4楽章“アダージェット”
- ワーグナー：歌劇「タンホイザー」序曲

※曲目は変更になる場合がございます。
予めご了承ください。



指揮: 佐々木新平

Shimpei Sasaki, Conductor

秋田県出身。東京学芸大学を経て桐朋学園大学にて指揮を専攻。飯守泰次郎、秋山和慶、小泉ひろしの各氏に師事。その後ヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選抜され、J.パヌラら巨匠たちの薫陶を受ける。2013年よりミュンヘンへ留学。ドイツを中心にヨーロッパ各地でさらなる研鑽を積んだ。2012年の第9回、2017年の第10回フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいてディプロマ、2015年ブザンソン国際指揮者コンクールにおいては本選最終の8人に選出された。これまで関西フィルハーモニー管弦楽団をはじめ国内主要楽団に客演。2015-19年東京

シティ・フィルハーモニック管弦楽団アソシエイト・コンダクター。2021-24年ヤマハ吹奏楽団常任指揮者を経て現在名誉指揮者。2022年より県の芸術発信拠点として誕生した“あきた芸術劇場ミルハス”の音楽部門アドバイザーを務める。現在オーケストラを中心に、吹奏楽、合唱、オペラ、バレエ等あらゆるシーンで才能を発揮。ほか多彩なレコーディングやイベントでの指揮、劇中音楽のスタジオ収録、音楽指導を務めるなど多方面に活動の幅を広げている。しなやかな足取りで、ひたむきに遥かなる高みに向かう若き指揮者。

<https://shimpeisasaki.b-sheet.jp>



管弦楽: 関西フィルハーモニー管弦楽団

Kansai Philharmonic Orchestra

1970年発足。2018年公益財団法人化。2020年楽団創立50周年。関西を代表する楽団の一つ。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは2008年より首席客演指揮者を務め、2011年1月より楽団初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は2000年より正指揮者を務め、2007年より首席指揮者に就任、2025年4月より総監督・首席指揮者に就任予定。鈴木優人は2023年4月より首席客演指揮者に就任。故飯守泰次郎(2023年8月没)は2001年より常任指揮者、2011年より桂冠名誉指揮者を務めた。2015年には東大阪市と「文化芸術のまち推進

協定」を、2020年には門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視している。BSテレビ東京の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜8:30~)に藤岡幸夫と共に共演中。2015年には、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアーを開催。2023年10月にも、ベルギー・フランス・ドイツの3カ国3都市を巡る2度目のヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。飯守泰次郎×関西フィル「ワーグナー特別演奏会」(2021年1月23日ザ・シンフォニーホール)が、2021年度音楽クリティック・クラブ賞本賞を受賞。山田和樹×関西フィルほか大阪4楽団「シューベルト交響曲全曲演奏会」(2022年9月8日ほか住友生命いずみホール)が、2022年度音楽クリティック・クラブ賞本賞を受賞。

オフィシャル・ホームページ <https://www.kansaiphil.jp/>